

ヨルダンにおける東京オリンピック・パラリンピック関係者を招いてのレセプション

1月28日、柳秀直大使は、東京オリンピック・パラリンピック2020でヨルダンのホストタウンとなっている秋田県能代市の齋藤滋宣市長御一行のヨルダン御訪問の機会に、ヨルダンのスポーツ関係者を招いて、大使公邸にてレセプションを開催しました。会合には、ヨルダン・オリンピック協会とパラリンピック協会の関係者や、東京五輪への参加が特に有望視される競技団体（柔道、空手、テコンドー、乗馬術、射撃、ボクシング、水泳、陸上の各協会）の関係者が参加しました。

レセプションの冒頭、柳大使より、ホストタウンとしてヨルダン選手団の受け入れを決定し、今回ヨルダン訪問も実現した能代市への謝意と、五輪におけるヨルダン選手団の活躍を期待する旨述べました。

次に、齋藤能代市長より、昨年7月にヨルダンのホストタウンに決定し、その縁で今回こうしてヨルダンを訪問することができ、ヨルダンのスポーツ関係者にお会いできたことに感謝しており、すでに能代市では12月にヨルダン・フェアを開催するなど交流が行われている、そして五輪においてはヨルダン選手を応援したいとの発言がありました。

さらに、ヨルダン・オリンピック協会のゼイダーン課長より、スポーツ交流の分野における日本の支援と能代市がホストタウンとなってくれたことに感謝したい旨発言がありました。



齋藤能代市長による御挨拶



ヨルダン・オリンピック協会御挨拶



集合写真